

令和6年度 第1回都島区区政会議 会議録

1 日時 令和6年7月9日（火）午後7時～午後8時45分

2 場所 都島区役所 3階会議室

3 出席者

（区政会議委員）

浦出委員・岡本委員・尾柳委員・下影委員・高野委員・多田委員・谷委員・西委員・菱池委員・
江川委員・藪上委員・山野委員

（都島区役所）

藤岡区長・伊藤副区長・吉村総務課長・三井政策企画担当課長・西山政策企画担当課長・松井
まちづくり推進課長・中尾防災地域活性担当課長・世古口窓口サービス課長・坂下保健福祉課
長・清原こども教育担当課長・筒井生活支援担当課長

4 議題

- (1) 部会報告（令和6年度第1回開催分）について
- (2) 令和5年度運営方針の自己評価について

5 会議次第

- (1) 開会（藤岡区長挨拶）
- (2) 議事

【吉村課長】

定刻の7時になりましたので、進めさせていただきます。

委員の皆様には、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

これより令和6年度第1回都島区区政会議を始めさせていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます総務課長の吉村でございます。よろしくお願ひいたします。

それでは初めに、区長の藤岡よりご挨拶させていただきます。

【藤岡区長】

皆様、こんばんは。藤岡でございます。

先週はすごく暑い日が続いておりまして、今週に入りましてまた梅雨空が戻ってきました。皆様におかれまして本当に体調管理をくれぐれもしっかりしていただきたいと思っております。

平素より皆様には、市政、区政各般にわたりましてご理解、ご協力賜り誠にありがとうございます。

本日は本当にご多用の中、また足元が少しお悪い中だったかなと思いますけれども、区政会議にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

また、議員の皆様におかれましてはオブザーバーといたしまして本日ご参加いただいておりますこと、誠にありがとうございます。よろしく願いいたします。

さて、本日の区政会議でございますけれども、令和5年度の運営方針の振り返りと、そして今後の区政施策についての議論をいただきたいと考えております。委員の皆様からは、事業の効果を客観的に見てどうか、また、改善に向けたご意見、アイデアなどをいただければと考えております。

また、5月末に開催されましたまちづくり・魅力部会、そして教育・子育て部会では大変熱心にご議論をいただきましたこと、ありがとうございました。本日は、各部会長より部会での議論報告をいただきまして、皆さん全員で共有していただき、それに加えてご意見をいただければと考えております。

限られた時間ではございますけれども、委員の皆様幅広く闊達なご意見をいただいて、実りある時間になりたいと思っておりますので、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

【吉村課長】

ここで、会議の進行につきまして、委員の皆様にご2点お願いがございます。まず、議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音、撮影させていただいております。また、本日の会議はインターネット配信を行っております。以上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

それでは、定足数の確認をさせていただきます。本日の会議には、委員定数18名のうち、現時点で11名の方がご出席されておりますので、定足数を満たしておりますことを報告させていただきます。

また、後藤委員、吉村委員、屋宮委員、石川委員、高橋委員、花田委員におかれましては、本日ご欠席のご連絡をいただいております。多田委員におかれましては、こちらに向かっておられるところだと思いますので、あわせてご報告をさせていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。事前にお送りしていた資料といたしまして、右肩に資料1と記載しております「第1回各部会からの報告」、右肩に資料2と記載しております「令和5年度運営方針の自己評価（重点ポイント）」、右肩に資料3と記載しております「令和5年度都島区運営方針」、その他資料として「令和5年度都島区区政会議委員評価シート」、こちらは資料をお送りした際、本日ご提出のお願いをさせていただきましたものでございます。本日ご持参いただいている方は、会議終了後、出口にて回収させていただきます。また、ご持参いただけていない方は、お手数ですが、ご記入いただきますようお願いいたします。最後に、本日配付資料「まちづくり・魅力部会の運営について」でござい

ます。以上が本日の資料となります。そろっておりますでしょうか。大丈夫でしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

続きまして、本日ご出席の議員の皆様をご紹介します。

大阪市会より岡田議員でございます。

同じく大西議員でございます。

同じく荒木議員でございます。

大阪府議会魚森議員におかれましては、本日ご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

それでは、これより高野議長に議事運営をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【高野議長】

皆さん、こんばんは。

それでは、第1回都島区区政会議の議題に入っていきたいと思います。

では、まず議題(1)部会からの報告です。既にご紹介ありましたように、まちづくり・魅力部会、それから教育・子育て部会の会議が既に行われました。その報告をお願いしたいと思います。まず、まちづくり・魅力部会から藪上部会議長にご報告をお願いします。

【藪上委員】

皆さん、こんばんは。まちづくり・魅力部会議長の藪上です。低いところから失礼いたします。

この場をお借りいたしまして、5月28日に開催しましたまちづくり・魅力部会第1回の部会の開催報告をさせていただきます。

第1回の部会では、次回以降の部会で議論したいテーマについて、皆さんお一人ずつご指名をさせていただきまして、ご意見を伺いました。地域特有の課題であったりとか、魅力ある都島区の将来に向けた課題など、お一人お一人がそれぞれ貴重なご意見を発表いただきました。その一覧につきましては、配付の資料1に掲載しておりますので、こちらをご参照いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

私のほうからは、今後の部会で議論いただくテーマと部会の開催方法につきましてご報告をさせていただきます。

まず、今後の部会で議論いただくテーマにつきましては、大きく2つのテーマについて議論、討議をさせていただきますことになりました。

1つは、防災、安全で美しいコミュニティ豊かなまちづくりです。ここでは主に駐輪マナーや駐輪対策の件、防災についての件、町会加入促進についての件などをお題に議論をさせていただき、次回の部会は9月に開催予定でございますが、次回の部会では町会加入促進についてをお題の中心として議論をさ

せていただくことになりました。その他のお題等につきましては、次回の部会以降、引き続き議論を行う予定になっております。

2つ目は、魅力あるまちづくりです。ここでは主に外国人ホスピタリティアクションについての件、住みやすさの魅力発信についての件、商店街の活性化についての件、水辺のにぎわいづくりについての件などをお題に議論をさせていただき、次回の部会では水辺のにぎわいづくりについてをお題の中心として議論させていただくことになりました。こちらのテーマにつきましても、そのほかのお題等につきましては、次回の部会以降、引き続き議論を行う予定になっております。

また、第1回の部会開催時に数多くの課題やご意見を各委員の皆さんから発表いただきました。そのご意見をできるだけ多く魅力ある都島のまちづくりへ反映できるように、区役所のほうから次回の部会よりテーマ別のグループ討議の時間を設ける提案がありましたので、実施することといたしました。大きくは、防災、安全で美しいコミュニティ豊かなまちづくり、もう一つは魅力あるまちづくり、この2つのテーマ別に委員さんもそれぞれ分かれていただき、より活発に意見交換いただき、効果的な審議となるように、引き続き努めてまいりたいと思います。

ただいまご報告のテーマ並びに部会の進め方の補足事項や詳細につきましては、この後、総務課政策企画担当の三井課長より説明がありますので、よろしくをお願いします。

以上、簡単ではございますが、第1回まちづくり・魅力部会の開催報告とさせていただきます。ありがとうございました。

【高野議長】

ありがとうございました。

5月28日に開催されました第1回まちづくり・魅力部会について、藪上部会議長より報告をお願いしました。ありがとうございました。

続いて、5月30日に開催の第1回教育・子育て部会について、こちらは江川部会議長よりご報告があります。お願いします。

【江川委員】

皆さん、こんばんは。教育・子育て部会、部会長の江川と申します。

教育・子育て部会では、都島区の前年度の取組、教育・子育てに関する施策の現状の説明報告をしてもらって、皆さんの意見を聞いて議論をしました。私自身、1期2年、これで4期目なんですけれども、今までの会議の中で一番議論がすごくて、そこで答えが出ず、議論したいテーマが決まらない状態だったので、次回の第2回でまた、まちづくり・魅力部会と一緒になんですけれども、グループ討議をするような形で進めていくという形でお話を聞いています。なので、まだ何もこれがどうこうというのは出ていないんですが、また次にいろんな議論が出て、いろんな意見が吸い上げられて、またよりよい、子どもた

ちのために、皆、委員が考えていることを区役所の方が実行してくれるようなすばらしい会になると思いますので、また次回の報告を楽しみにしておいてください。ありがとうございました。

【高野議長】

江川委員より教育・子育て部会第1回の会合についてのご報告がありました。

続いて、先ほど藪上委員から一部ご説明もありましたが、まちづくり・魅力部会の補足説明について、三井課長より補足説明をいただきます。お願いします。

【三井課長】

ありがとうございます。事務局の政策企画担当課長、三井でございます。座って説明させていただきます。

先ほど、まちづくり・魅力部会部会長の藪上様からご説明いただいたところですが、少し細かな点についても私から追加で説明させていただきたいと思います。資料につきましても、先ほどのA4横の「まちづくり・魅力部会の運営について（第2回以降）」について説明させていただきます。まず、まちづくり・魅力部会、区政会議委員18名のうち15名で構成されておりまして、非常に人数が多く、委員間の意見交換がなかなか難しい状況でございました。資料1の前の5月28日の部会の主なご意見、最後のポツのところにもあるんですけれども、部会で、部会の運営方法について、区役所と質疑応答だけではなくて、自分たちの興味があるテーマを少人数で議論する形がいいのではないかとご意見をいただいたところでした。

そこで、まちづくり・魅力部会は特に人数が多うございますので、部会での議論をより活発化させるため、2つのグループに分けて意見交換いただく時間を設けたいと考えてございます。

グループ分けにつきましては、先ほどおっしゃっていただきましたような安全・安心、コミュニティの関係のAグループと、魅力の関係のBグループと2つに分ける予定です。グループ分けにつきましては、事前に部会所属の委員の方に希望調査をさせていただきまして、それを受けて、事務局で人数バランスなどを調整させていただいた上で入っていただくグループを決定して、次回9月24日の会議に臨んでいただきたいと思ってございます。

部会の進行としましては、資料左下に記載しておりますように、最初に部会の進め方が変更になりますので改めてご説明した上で、まずは部会の方全員に対して議題ですとか資料のご説明を行います。その後、テーマ別に分かれていただきグループ討議をしていただきまして、そのグループ討議で出たご意見を発表していただいて、全体に共有し、部会全体での討議を行うと、そういった流れを想定しております。

席につきましても、資料の右側に図示しておりますように、グループ討議がしやすいような、2グループで島にするような形で考えておりまして、部会の議長、副議長にもグループに入っていただきたいと

思っております。そのグループ討議の際は、区役所の担当課長が進行させていただきたいと考えております。

また、このやり方は、試行的にまずはより人数の多いまちづくり・魅力部会から実施させていただきまして、この試行を経て、必要に応じて教育・子育て部会での導入についても検討してまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありました各部会の内容についてや、今のまちづくり・魅力部会の運営についてのご説明に何か委員の皆様からご意見、ご質問がありましたら、ここで、これ以降、挙手をお願いいたします。挙手いただきましたら、インターネット中継をしている関係上、各地域とお名前をご紹介の上、マイクを回しますので、その上で質問をお願いしたいと思います。では、質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

特にありませんでしたら、その後また議題がたくさんありますので、続けていきたいと思っております。後ほどまた部会のことについて質問、あるいはどのようなことでも構いませんが、終盤にありましたら、その場で意見いただければと思っておりますので、では議題（2）に入っていきたいと思っております。

議題（2）令和5年度運営方針の自己評価について、事務局から資料2に沿って説明をいただきます。右肩に資料2と書いた資料を使って皆さんにご説明します。この資料2、大変多岐にわたってしまっていてボリュームがあることから、一遍に説明をするのではなくて、3回に分けて。資料2については、まず1-3までが一つ、それから次が2-1から2-3までが2つ目、3-1、3-2、4-1、4-2を3としまして、3部門に分けて、1か所ずつ事務局から説明がありまして、その都度、質問、ご意見をいただきたいと思います。各年度ごとの目標の数値、そして前年度よりの達成率などのご説明がありますが、その数字を改善するためにどうしていったらいいのか、アイデアなどがありましたら、その場で意見をいただきたいと思いますし、また説明で補足して詳しく聞きたいというのも、部門別に説明していきますので、その都度、挙手にて質問していただければと思っております。

それでは、最初に1-1、防災のまちづくり、1-2、防犯のまちづくり、1-3、安全で美しいまちづくりについて、事務局より説明をいただきます。お願いします。

【三井課長】

ありがとうございます。事務局の政策企画担当課長、三井でございます。失礼して座らせていただきます。

まず、今議長からおっしゃっていただきましたように、資料2、令和5年度運営方針の自己評価につき

まして、1-1、防災のまちづくり、1-2、防犯のまちづくり、そして1-3、安全で美しいまちづくりについてご説明させていただきます。

まず、資料の1ページ目、概要をお示ししておりますけれども、このたび運営方針に記載の各施策につきまして、1年間の取組成果を記載いたしましたので、各施策の振り返り、その状況を踏まえ、施策の改善に向けたアイデアなどのご意見をいただきたいと思っております。

次の2ページ目に一覧を掲載しておりますけれども、アウトカム指標、プロセス指標とも、順調でない、未達成が複数ございます。それぞれ次のページから、アウトカム指標で順調でない、またプロセス指標で未達成となった項目について抽出して記載しておりますので、それぞれご説明させていただきますと思っております。

まず、3ページ目、1-1、防災のまちづくりですけれども、アウトカム指標が目標に達しておらず、順調でないという評価になっております。しかしながら、プロセス指標欄にあります出前講座や防災訓練によりまして災害の備えに対する意識が高まっておりますし、災害の備えができています区民の割合も、令和4年度、58%、令和5年度は60%と、一定伸びておりますので、取組の方向性は間違っていないものと考えております。アウトカム指標として設定しております災害への備えができています区民の割合を向上させることは、非常に重要な取組ですので、3ページの下、今後の取組について記載しておりますように、SNSや広報誌による情報発信をはじめ、出前講座やイベント等において、これまでよりもさらに分かりやすい啓発方法を検討いたしまして、取組を強化してまいります。

次に、4ページ目、1-2、防犯のまちづくりですけれども、こちらもアウトカム指標が目標に達しておらず、順調でないという評価になっております。こちらもプロセス指標欄にあります警察と連携した防犯啓発や青色防犯パトロールの巡回、防犯カメラの設置などの取組ですとか交通安全教室、街頭啓発、自転車マナーアップ啓発等の取組が一定の評価を得ていること、また、アウトカム指標である区民の防犯意識の向上が街頭における犯罪の発生抑止につながっていると感じられる区民の割合につきましても、令和4年度、61%、令和5年度、64%と伸びておりますので、一定の成果が現れているものと考えております。

今後の取組につきましては、警察と連携し、啓発活動の実施や防犯カメラの効果的な場所への設置を進めるとともに、区民が犯罪に巻き込まれないよう、防犯意識の向上を目指して、SNSや広報誌を活用した取組の発信についても積極的に行うこととしております。

次の5ページ目、1-3、安全で美しいまちづくりですが、アウトカム指標が目標に達せず、順調でないという評価になってございます。プロセス指標欄にあります環境美化活動が環境美化意識の向上につながっていると感じる割合ですとか、京橋地域の客引き行為等適正化重点地区の指定と路上喫煙禁止地区が区民、来街者に浸透したとを感じる割合が目標値を超える評価を得ておりますこと、また、アウトカム

指標である市民協働による啓発等の取組が区民や来街者の環境美化意識の向上につながっていると感じる区民の割合につきましても、令和4年度、74%、令和5年度、75%と伸びていることから、一定の成果が現れているものと考えてございます。

今後の取組につきましては、中学生の路上喫煙防止絵画の作品募集ですとか、清掃活動（都島クリーン作戦、大川かたづけ隊）などの環境啓発活動を継続するとともに、区民全体が環境美化意識が向上したと感じられるよう、SNSや広報誌を活用した取組の発信についても積極的に行うこととしております。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

三井課長より防災のまちづくり、防犯のまちづくり、安全で美しいまちづくりについてのご説明をいただきました。ただいま説明いただいた内容を踏まえて、この数字を改善していくためのアイデアやご意見、ご質問、また、各地域で取り組まれている事例などもご紹介いただけましたら幸いです。どのようなご意見でも構いませんので、この場で質問、またご意見をお願いします。挙手にてお願いします。

それでは、藪上委員にマイクをお回しいたします。

【藪上委員】

大東地域の藪上です。説明ありがとうございます。

この防災であったりとかについて、先般、うちの地域でも地域一斉の防災訓練というのをやって感じたことは、若い人がやっぱり少ないですね。ご高齢の方とかにお話を聞くと、もし災害が起きたときに若い人が助けに来てくれないと、本当に助かるかどうか不安だということ、そういったご意見とかお話とかも聞きました。これは地域の特性とかもあると思うんですけども、地域で一斉に防災訓練をすとか、そういったことは非常に限界が来ているのではないかなという感じもいたしました。例えば若い人向けにとか学生向けにとか、ちょっと年代層を分けてそういった出前の講座であったりとか訓練を行うということも考えていくと、こういった防災というところの意識というところは向上するんじゃないかなと思いました。やはり災害の備えができていくと、いった回答もまだまだ6割というところでありますので、ここをやはりもっと上げていくとなると、いずれ6割以上が頭打ちになってくるんじゃないかなという心配もあるなという感じはします。そこをさらに上げていくということになると、やはりもっと若い世代にどんどん防災リーダーになってもらうということが重要だと思うんです。そういったところを何か区の発信でしっかりと施策でやってほしいなと感じる部分です。

ちょっとまとまりがなくてすみません。以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。

今いただいたご意見について、担当課のほうからお答え、そして今取り組まれている区役所の活動などございましたらご説明をお願いします。

それでは、中尾課長、お願いします。

【中尾課長】

防災地域活性担当課長の中尾です。着座にてお答えいたします。

今、藪上委員からおっしゃっていただきました大東地域での防災訓練、私も運営のほうで携わらせていただきました。若い人が少ないという地域の方のご意見もあって、またご高齢の方からも、実際に災害が起こったときに、本当の実際の行動としても助けに来ていただけるか、またそういうので不安でいっぱいであるということでお話を伺いました。先ほど部会の報告の中でもこの問題というのは我々も認識しておりまして、横書きのこのペーパーにも書いてあるんですが、テーマ別グループの中で安全・安心のまちづくり、コミュニティ豊かなまちづくりグループ、Aのところ、テーマとしても実際に、部会でもお話がございましたので、ここで文字にもさせていただいております。地域防災の担い手についてということで、区としてもどのように若い人を育成、また学生向けとかでも促していけたらいいかというのは、ここでもご意見等も賜りながら、訓練の仕方なんかを進めていきたいと感じております。

実際に、今年度で申し上げますと、11月に桜宮中学校で防災授業というのを土曜日行われる予定なんです。ここでも地域の防災リーダーの方々と桜宮の地域振興会の方と一緒に訓練をする予定です。そこでは、中学生の方が、例えばコンロの使い方であるとか、野菜の切り方とか、いわゆるちょっとキャンプ的なことを実際に学校側が運営をする、トレーニングしていくということで、これが将来の防災の担い手につながればいいと桜宮中学校の校長先生も抱負を語っておられました。こういった形も一つのアプローチの方法かなと思いますので、地道にその辺も取り組んでいきたいと考えております。

それで、このアンケートの結果につきましても、60%から頭打ちを突破できるような取組、また地域の皆さんからもご意見を賜りたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

以上でございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

続いて、江川委員からのご意見です。マイクをお返しします。

【江川委員】

今ちょっと言ってもらったんですけれども、私は東都島地区の防災リーダー隊長なんです。今言ってくれた授業が中学校であって、それで可搬式ポンプとかいろんなことをやったりして子どもたちを担い手にするという形でやっているのと、あと、先月は東都島小学校で防災授業をやって、それも子どもたちがAEDをやったりとか、かまどベンチを使ったりとか、そういう防災の担い手。大人は防災リーダーが

何人いても、お昼におるか分からないので、そういう子たちを育てていくということを東都島地区でやっています。そういう形で子どもたちに参加してほしいんですけども、やっぱり子どもは中学生でも力がなくて、可搬式ポンプでも使えなかったりするんですね。だから、使い方を覚えてもらって大人の手伝いぐらいになるんです。けれども、そういう形で、区だけじゃなくて地域では人を増やしていこうとやったりとか、あと住之江区とかやったら中学生防災士みたいなのを中学校でやったりとか、その辺は区でやってもらえたら認識が増えて、今、藪上委員が言っていたような担い手が増えるかもしれないので、その辺はやってほしいです。けれども、地域としては、自分たちでまたやっていっています。町会の加入率も、私がやっている子ども食堂2か所とも、東都島地区の町会に入っている人は全員無料という形でやっているの、そういうのでまた、町会に入って損するじゃなくて、町会に入ったら得するでというイベントをどんどん増やしていきたい。自分らは取組は何でもできるので、またやってほしいことはお願いするので、そちらをお願いします。

【高野議長】

それでは、中尾課長、お願いします。

【中尾課長】

中尾です。ありがとうございます。

様々なアイデアもいただきましてありがとうございます。その部分でもまた一緒に私たちが知恵をいただきながら盛り上げていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

各地域の取組などもご紹介いただきましたので、これから地域で取組を考えていらっしゃる委員の方も、また役立てていただければと思います。

ほかに、この項目についてご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、続いての議題に移りたいと思います。2-1、コミュニティ豊かなまちづくり、2-2、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりについて、事務局より説明をいただきます。お願いします。

【三井課長】

事務局、政策企画担当課長、三井でございます。座らせていただきます。

それでは、次に資料2、6ページ、2-1、コミュニティ豊かなまちづくりについてご説明させていただきます。

こちらは、アウトカム指標は目標を達成しておりますけれども、プロセス指標の2、地域コミュニティの推進において、広報みやこじまやSNSによる啓発が地域活動への理解促進に有効と感じる区民の割合が59%と、目標値である60%を下回ったため、目標未達成となっております。今後の取組につきまして

は、引き続きあらゆる媒体を活用し、地域活動への若い世代の参加や担い手が不足している課題に即した取組となるよう、地域活動の情報発信に取り組んでまいります。

次に、7ページの2-2、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりですが、アウトカム指標、地域の見守り活動があることによって、安心して暮らし続けられると思う区民の割合が目標に達していませんで、順調でないという評価になっております。プロセス指標の地域福祉コーディネーターによる相談・訪問等活動件数が目標値を超え、活動を進めていただいている状況が分かりますし、アウトカム指標も、令和4年度、53%、5年度、55%と伸びているところではございます。今後の取組としましては、地域の見守り活動拠点として、地域福祉コーディネーターが調整役となって見守り活動を行っていることを区広報誌に掲載するなど、活動の周知等を強化することとしております。

簡単ですが、説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

今ご説明の2-1、コミュニティ豊かなまちづくり、2-2、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりについて説明がありました。今の説明について、ご意見、ご質問やアイデアなどございましたらお願いいたします。

では、下影委員にマイクをお返しします。

【下影委員】

下影です。 2-2、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりのアウトカムの指標のところ、地域の見守り活動があることによって安心して暮らし続けられると思うというアンケートを、それぞれ区民アンケートで回答すると思うんですけども、一般に考えれば、地域の見守り活動があることというのに、それが何を指しているかというのは多分意識できないんじゃないのかなと思うんです。それが安心して暮らし続けられるというものにつながるかといったら、それもまた分からないという状況に陥るんじゃないのかなと。アンケートの取り方の問題よりは、地域の見守り活動というのはどんなものなのかというのがやっぱり意識できない。アンケートを実際に書くときに思い浮かぶことができないんじゃないのかなというのが率直な感想です。だから、安心して暮らし続けられると感じられるところにつながっていかないと僕は感じ取れてしまうところもあります。そういう意味では、地域福祉コーディネーターさんは活動されてありがたい限りなんですけれども、その人の活動というのを今以上に活動に対してのPRをしていかないと、やっぱり安心して暮らし続けたいにつながらないんじゃないのかなと思いました。

以上です。お願いします。

【高野議長】

ただいまいただきましたご指摘についてのご説明や、そして今後の取組について、区役所から説明をお願いします。三井課長、お願いします。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。

今いただきました設問のことにつきまして、設問の何を指すかというのが分からないとということでご指摘いただいておりますので、区民アンケートの際にはそれが何を示すのかというのがよく分かるような形で、例示するなり具体的に聞くなり工夫をしていきたいと思っております。ありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、山野委員にマイクをお返しします。

【山野委員】

2-1のコミュニティ豊かなまちづくりの中の取組によりめざす指標②のところ、区民アンケートにおいて広報みやこじまやSNSによる啓発が地域活動への理解促進に有効と感じる区民の割合というところが60%以上になっていなかったということですが、今後の取組について、引き続きあらゆる媒体を活用し情報発信に取り組んでいくと書かれています。もちろんこういうこともあるほうがいいかなと思うんですけども、ちょっと漠然とした言い方になるかもしれないんですけども、逆に区民側からほしいときにほしい情報を探しやすくするというような取組をしていただいたほうが、見たくないときでも情報が来たときにスルーしちゃって、でも逆に見たいというときにどうやって探せばいいかわからないということがたまにあるかなと感じることもあるので、そういうお互いの方向で、探しやすいのを発信するほうと探したいときに探せるということに意識していただくといいかなと思いました。

【高野議長】

ただいまいただいたご意見についてのお答え、今後の取組について、松井まちづくり推進課長にお答えいただきます。

【松井課長】

まちづくり推進課長の松井でございます。着座にてご説明させていただきます。

山野委員から今ご提案という形でいただきました中身につきましては、おっしゃられるとおりに、確かに我々は常に情報をお届けするというのが基本的なメインの仕事になっているんですけども、それが、全ての受け手側がほしい情報かどうかというのは、必ずそれも分からない。もっと違う形でほしい情報もあるんじゃないか。そのときに、受け手側の人たちがもらいたい情報をどううちの区として受けて、それをお返しするかという仕組みにつきましては、まだ確立したものというのは正直ないところで

ございます。そういった意見箱というのか質問という形になるのか分かりませんが、ちょっと中でもそういった対応について、どういうふうにお返しをするようなことができるのかということで、一定ご意見という形でお伺いできるそういうツールはあるんですけども、もっと幅広く工夫できないのかどうかというのは、すみません、ちょっとまたご議論というか検討させていただいて、できるようなものから順次また取り組ませていただきたいと思います。どうもありがとうございます。

【高野議長】

では、菱池委員にお返しします。

【菱池委員】

福祉コーディネーターをしていますので、先ほどのアウトカムの指標、地域の見回り活動があることによって安心して暮らし続けられると思うというのが低いのは、これは一般の人も入れているからじゃないですか。今されている人だったらもっと高い数字。下の育児に関してのように。これは参加者にアンケートを取っていますから100%。このような数字が出ると思います。だから、一般にアウトカムとかを取る必要があるのかというのは疑問に思います。

【高野議長】

という意見だったんですけども、この数字についてのお答えなどしていただける部署がありましたらお願いしたいんですが。

坂下課長、お願いします。

【坂下課長】

保健福祉課長、坂下と申します。

アンケートの取り方につきまして、ここで挙げるものについて何が適切かどうかというのはちょっと考えて、またアンケート、質問を考えて、安心して暮らし続けることができるまちというようなことを問うのか、コーディネーター事業自体を問うのかといういろんな考えがあるかと思うので、そのあたりちょっと整理して、何がふさわしいのかを考えて質問項目を考えていきたいとしますので、よろしくお願いたします。ご意見が分かれているところはあるかと思うのですが、ちょっとそのあたりも試行錯誤がやっぱり必要ななと思っておりますので、また考えていって、何が適当なのかどうか考えていきたいとします。よろしくお願いたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

ほかにございますか。

では、西委員、お願いします。

【西委員】

すみません、根本的なところを聞きたいんですけども、この区民アンケートというのは、年齢層とか男女比とか、それは幅広くというか、10代で何割、20代で何割、30代で何割みたいな、そのベースというか、そのアンケートの対象者はどんな形になっているんですか。

【高野議長】

三井政策企画担当課長にお答えいただきます。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。

アンケートは、区役所としては年2回取っているんですけども、1,500名を対象に住民票のほうから無作為で抽出してアンケートをお送りしています。アンケートの回答率は大体35%前後ぐらいなんですけれども、多少、年齢層によって、少し若年層の方の回答率が低かったりとか、年代によって多少偏りはあるんですけども、満遍なく回答をいただいておりますので、このアンケートの結果につきましても、多少の年齢層だったり、多少の男女の差はあるんですけども、おおむね無作為で区民の方の傾向が見えるアンケートになるように工夫して取っているところでございます。

以上です。

【高野議長】

引き続き、西委員、お願いします。

【西委員】

そうすると、やっぱり先ほどの地域の見守り活動とかに関しては、多分30代、40代ぐらいだとあまり、見守りがなくてもそれぞれ生きていけるというか、見守られずに過ごしている人が多いと思うので、やっぱり70%になるというのはとても無理な目標なんじゃないかなとも思うんですね。先ほどおっしゃったみたいな、していただいている方はみんな100%安心していると言えると思うんですけども、やっぱりそれ以外の方でこの目標というのはなかなか無理があるんじゃないかと。ちなみに、無作為でやった中でも答えてくださる人、答えてくださらない人がいらっしやると思うんです。それによっても大分、声って拾えるような拾えないような、アンケートってすごく微妙な声というか。実は私、来たんですよ。無作為。これ何とって答えたんですけども、これって誰に来るんだろうと思いつつながら答えたものだったんですね。私は多分こういう活動もしているから積極的に答える派だと思うんですけども、若い人なんかは、来たら、ポストからぼいっとしてしまうかもしれないし、その辺をもうちょっと、もっとみんなの意見を取り入れられるようなアンケートの方法があったらいいなと思います。

【高野議長】

では、三井課長に再びお答えをいただきます。

【三井課長】

ありがとうございます。政策企画担当課長、三井でございます。

確かに、おっしゃいますようにアンケートですね。本当は一番のベストは区民の方から全員いただくのが最もベストなんですけれども、ただ、なかなか費用対効果といいますか、かなり費用もかかりますし、1,500名の無作為で抽出してお送りしているところなんです。回答していただけるように、少し前からオンラインでも回答していただけるようにとか、設問数もあまり数を増やさないとか、厳選してお送りするとか、できる限りの工夫はこれまでも考えてきたところなんですけれども、おっしゃいますような点を踏まえて、さらに回答していただけるような、回答しやすいような、また回答しようという気になるようなアンケートの取り方を検討していきたいなと思います。

また、確かにアウトカム指標で目標未達成のものは多いんですけれども、年々そのパーセンテージが向上していったりしているのもありますし、今ご指摘もいただきましたように、そもそも目標値がどうかという部分がございますので、これが将来ビジョンとしまして5か年で目標値を設定して、その中間年として令和5年度は何%となっていますので、少しこういう目標が高止まりした状況が続いてしまうんですけれども、次の設定の際には、そういったこれまでの取組を踏まえたりとか、対象の方が全区民の方のどの程度いらっしゃるかというのを勘案して設定のほうをしていきたいなと思います。どうもありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

ほかにご意見のある方いらっしゃいますか。

では、江川委員です。マイクをお回しします。

【江川委員】

私自身がメディア発信重視型まちづくりという一般社団法人で副理事長をしていて、京橋にハリウッド映画を呼んだりとかそれをやっている団体の副理事長なんです。一応SNSの投稿があったら、いろんな投稿を拾って都島区の情報も上げているんです。基本的にあと1%やったら、こんな普通の使い方、セオリーってあるじゃないですか。フェイスブックはアーカイブで、一次情報はXで出して、ユーチューブをつくったらそのショート動画をつくってTikTokに上げるという。そうしたらもう簡単に基本的には広がっていくので、その辺をやっているのかなというのを前から思っていたんです。その辺をやったらこのアウトカムは上がるなとは思っています。なので、またそういうので、今は広めることはしているんですけれども、そういう手伝いがあったらまた何でもやるので、言ってくれたらと思っています。うちの社団に言ってくれたら。よろしくお願いします。

【高野議長】

では、三井課長、お願いします。

【三井課長】

ありがとうございます。政策企画担当、三井でございます。

SNS発信ですね。確かに発信の仕方と、あとご協力いただけるような拡散をいかに図るかというのは重要かと思っておりますので、また区役所でも効果的な発信と、また連携いただける発信先の方、それぞれご協力をお願いするとか、そういった発信方法を検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

【高野議長】

それでは、ほかにご意見ございませんでしたら、次、3-1、3-2、4-1に移りたいと思います。後ほど、またありましたら、この2についてもご質問の時間等を設けたいと思います。

次に、3-1、魅力あるまちづくり、3-2、未来の都島を担う人材育成、4-1、区民の声が区政に反映される仕組みづくりについて、事務局よりご説明をいただきます。お願いします。

【三井課長】

引き続きまして、政策企画担当課長、三井でございます。

それでは、資料2の8ページ、3-1、魅力あるまちづくりにつきまして、アウトカム指標は目標達成しておりますけれども、プロセス指標のうち、桜ノ宮ビーチに行ったことがあると回答した区民の割合が目標を下回っております。同じ質問に対し、令和4年度には36%に達していたことから、一定の区民利用はあるものと考えられます。今後、より多くの区民の利用が図られるよう、桜ノ宮ビーチでのスポーツイベント等の共催や協力、区主催のビーチでのイベントなどを開催し、SNSを利用して桜ノ宮ビーチの情報発信を強化していきたいと考えてございます。

次に、3-2、未来の都島を担う人材育成ですが、アウトカム指標、全国学力・学習状況調査において、将来の夢や目標を持っていると回答する児童・生徒の割合が目標に達せず、順調でないという評価になってございます。プロセス指標におきましては目標を達成しておりますけれども、今後の取組についてに記載しておりますように、コロナ禍によりまして、日常生活における体験が少なくなったことなどから、将来の夢や目標を持っている子どもの割合が減少傾向にあると考えられます。今後、都島区教育力向上支援事業などを活用することで、子どもの学びや遊びを通じた体験を充実させ、子どもの成長の機会を増やすことで、将来の夢や希望を持っている子どもの割合を上昇させるよう取り組んでまいります。

最後に、4-1、区民の声が区政に反映される仕組みづくりですが、アウトカム指標、区役所が様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合が、増加はしておりますものの、やはり目標に達しておらず、順調でないという評価になってございます。また、プロセス指標でも、自分の意見を区に伝える方法を知っているという区民の割合が目標を下回っております。今後の取組につきましては、幅広い区民の方々から区政運営の意見・評価をいただくため、広報誌をはじめとする広報

媒体を活用し、区民が自分の意見を区に伝える方法について周知を図るとともに、区政会議や区民アンケートを活用して、多様な区民の意見やニーズの把握を促進することとしております。

説明は以上でございます。

【高野議長】

ありがとうございます。

では、ただいまご説明いただいた内容を踏まえて、魅力あるまちづくり、区民の声が区政に反映される仕組みづくりについてのアイデア、各地域での取組、またご意見、ご質問等、お願いしたいと思えます。いかがでしょうか。

では、藪上委員にお願いします。今マイクをお持ちします。

【藪上委員】

大東地域の藪上です。

2点ございまして、まず3-1、魅力あるまちづくりのところで、プロセスの指標を桜ノ宮ビーチに行ったことがあるというところを指標にされているんですけども、ここは目標達成はできませんでしたと。ただ、その反面、令和5年度で、その上のアウトカム指標で魅力を感じると回答した区民の割合、95%とあると思います。なので、私が思うところに、別に桜ノ宮ビーチに特にこだわる必要というのはないのではないかなと思っていて、なぜこの桜ノ宮ビーチに限定してアンケートをしたのかなというところが、少しちょっとどうなのかな思いました。特に水辺のにぎわいづくりというところなんですけれども、今年は開催ができませんでしたが、例えばみやこじまりバーフェスであったりとか、そういったところも区としては計画はされていたと思いますし、もっと水辺のあるまちづくり、にぎわいづくりというところであれば、単純に桜ノ宮ビーチにこだわってアンケートを取るのではなくて、例えば大川全体で見る、桜も本当にきれいですし、非常にいい川だと思えますよね。そういったところにやはり魅力を感じてもらおうというところにしっかりと注力していただいて、単純にそのポイントだけじゃなくて、大川全体をやはり盛り上げていくというところに都島の魅力というのをもっと感じてもらえるのではないかなという気がいたしました。ちょっとこれは意見のような形になってしまって申し訳ございません。

もう一点ございまして、3-2、都島の未来を担う人材育成ということで、将来の夢や目標を持っていると回答する児童・生徒の割合、73%ということでございます。私も小学校のPTAの会長を現在やっております、やはりこういったお話というところは学校協議会とかでも聞いたりはするんです。今後目標をもっと向上していくといったところに、ちょっとこの夢や目標という話がありましたので、例えば都島区って非常に企業さんが多いと思えます。大きな企業さんが、例えば、京橋でいうとNTT西日本さんが構えていたりとか、北のほうに行きますとサイクルベースあさひさんであったりとか、そういった誰でも知っているような企業さんというところが都島って実はいっぱいあったりとかします。そういった

ところと企業連携をして、区が連携して、出前授業にそういった企業さんを誘致するであったりとか、そういったところをもっと、より身近な職業の体験であったりとか、より身近な講習、講座というところができる。どうしても将来の夢や目標を持っているということになると、例えばスポーツ選手で大谷翔平みたいになりたいとか、オリンピック選手になりたいとか、そういったところに思いがちのような気はするんですけども、もっと身近な夢や目標というところ、身近なところに手を触れてもらえるというところを考えると、そういった企業さんであったりとかということにどんどん協力してもらって、そういったところの出前講座であったりとか授業であったりとか、そういったところを区としてやはり推進していくということをやってほしい。やっていくと、こういった夢や目標を持っている生徒の割合ということもどんどん増えていくんじゃないかなと思いました。

私から意見として2点させていただきました。

【高野議長】

ありがとうございました。

ただいまいただきました3-1についての桜ノ宮ビーチにこだわった設問の理由や、また桜ノ宮ビーチにこだわっておられる区役所の方向性と、3-2に対するご提案についてのお答えいただける部署ありましたらお願いします。

では、三井課長をお願いします。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。

今、3-1の桜ノ宮ビーチの関係でご説明させていただきたいと思います。もともと桜ノ宮ビーチにこだわっていたところは、このようなまちなかであれほどきれいな人工のビーチというのがほかにないないところから、それが売りになるんじゃないかということで特に力を入れて、大阪府さんとかいろんな民間事業者さんと連携しながら盛り上げていこうとしていました。そういったところから、桜ノ宮ビーチというのは特出しして指標を取っていたところなんです。藪上委員からご指摘のように、リバーフェスとか、大川だけじゃなくて淀川も含めて、水辺の魅力とかにぎわいづくりというのは広い範囲でもう少し考えていけるかなと思いますので、今後につきましては、桜ノ宮ビーチ一つありますけれども、そこだけにこだわることなく取組なりも考えていって、アンケートについてもそのような、より拡大した取組に対してどのように思われているかを聞くような、そういった聞き方のほうを考えていきたいと思います。ありがとうございました。

【高野議長】

3-2についてはいかがですか。清原こども教育担当課長にお答えいただきます。

【清原課長】

こども教育担当課長の清原です。

都島区小中学校、授業の中で職業講話であるとか職場見学であるとか、それから職場体験ということカリキュラムに組み込まれて、それぞれ学校の先生も含めてあちこち開拓しながら努力されているところでは。私どももちょっとお手伝いできないかというところで、さっき出ましたけれどもNTTも含めてお話をさせてもらって、こんなことができますよ、あるいはソフトバンクさんなんかも声をかけさせてもらって、そういう出前授業であるとか何かできないことはありませんかということで、まとめた資料を学校さんには提供させていただいています。ただ、いかんせん学校の児童・生徒さんの数々に比べると、やっぱりちょっと我々の力も及ばずで数が足りていないところがありますので、学校とも協力しながら、そういった活動に参加していただけるような企業さんの開拓を、学校と一緒に協力して進めていきたいという思っています。引き続きよろしく申し上げます。

【高野議長】

では、再び薮上委員にお答えいただきます。

【薮上委員】

大東地域の薮上です。三井課長、清原課長、ありがとうございました。

ちょっと3-1の件です。正直言いますと、桜ノ宮ビーチ、やはり北側のエリアの人ってあまり桜ノ宮ビーチに行く機会って少ないんですね。どっちかという、桜ノ宮ビーチまで行くよりかは、淀川でスポーツするほうがというような形が多いかなと思っておりまして、何で桜ノ宮ビーチなのかなというちょっと単純な疑問は、どうしても北側特有の意見なのかもしれないんですけども、ちょっと発表させていただきました。

やっぱり大川って、今リバーフェスの話をさせてもらったんですけども、区民まつりも大川沿いでやると思いますし、やはり春になると、桜の時期になると大川沿いに観光客が非常に集まるというところはすごく本当に魅力的だなと思います。また、大川は都島区と北区とちょっとだけ中央区、一部中央区みたいな形ですかね。ただ、やはり歩いて散歩をすとかウォーキングをすとかって、ほとんどが都島区のエリアなのかなと思いますので、ある意味言えば本当に都島区の一番の魅力にできる部分かなと思います。そこから歩いていくとやはり大阪城にもつながっていきますので、区同士の連携、横のつながりというところもやはり相乗効果というところもあるのかなと思いますので、こういったところをぜひ取り組んでいただきたいなと思いましたので、すみません、ちょっとご意見も再びさせていただきました。ありがとうございます。

【高野議長】

では、続いて山野委員にマイクをお回しします。

【山野委員】

3-2の未来の都島を担う人材育成のアウトカム指標についてなんですけれども、児童・生徒が将来の夢や目標を持っているということを区の人材育成の方針の指標にするというのはなかなかちょっと難しいのかな、なかなか結びつかない部分も結構あるのかなと思ひまして、区の運営方針以外で将来の夢や目標に関わる部分って多々あると思うんです。なので、これだけで指標としちゃうとなかなか、逆に達成できたからいいのかという問題もあると思ひますし、もうちょっと違う指標にしたほうが、区の運営方針の評価としてはいいのかなと思ひました。

【高野議長】

という意見があったんですけれども。

では、清原課長、お願いします。

【清原課長】

区役所として教育に関するウエートがどれぐらいあるのかは確かに難しい問題だと思います。実際には教育委員会さんのほうから学校現場なんかには、それこそ国レベルで言えば学習指導要領もある話です。ただ、区役所として一定やっぱり関与している部分がありますので、何らかの形で事業に携わっていくためには指標は要るだろうというところではあります。おっしゃっているように、アウトカム指標として広く生徒を対象にしてこういう数字で我々の活動をはかるのがいいのかどうかというのは、確かにちょっと直接結びつきにくい部分もあるかと思ひますので、これをすぐに変えるのは、これまでの継続の話があるので難しい部分があるかと思ひますけれども、ご意見は参考にさせてもらって、あり方そのものはまた今後検討させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

【高野議長】

では、尾柳委員、マイクをお返しします。

【尾柳委員】

友渕地区の尾柳です。

すみません、3-1で、桜ノ宮ビーチのことばかり申し上げてはいけないんですけれども、ちょっと今日雨だったので、安全にと思って川べりを走ってまいりました。そうすると、橋の下なんかはすごく水たまりが多くて、私は自転車ですのでばしゃばしゃと来ましたが、非常に歩いて帰ってこられる方もたくさんいらっしゃって、端っこを本当にちょんちょんちょんと濡れないように頑張って歩いておられる方を時々お見かけするんです。桜宮というか大川沿いをそんなに都島としてきれいに魅力あるまちにしたいんだったら、道とかをもっときれいにしないといけないんじゃないかなと思ひます。桜ノ宮ビーチで今日ビーチバレーをされている方がいらっしゃったんですけれども、水道施設しかないみたいなので、やっぱりもっと活用してもらおうと思ったらシャワーも要るんじゃないかなとか、いろいろ考えながら今日ここまで走ってきました。

以上でございます。

【高野議長】

ありがとうございます。

今いただきましたご意見についてお答えいただけます部署はありますでしょうか。

では、三井課長をお願いします。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。

大川沿いの道路ということでございますので、道路の状況につきましては建設局なり関係部署にもそういった状況を写して改善の要請をしていきたいなと思います。また、おっしゃいますように桜ノ宮ビーチの活性化のためにはもう少し施設もということでございますので、そういったビーチの活用促進に当たっては、そういった設備等も確かにあったほうがもっとにぎわいますので、そういったことも含めて検討していきたいなと思います。ありがとうございます。

【高野議長】

すみません、議長で。補足ですみません。

桜ノ宮ビーチについては、そういった設備工事とかイベントについては、都島区に府と共同して権限があるんですけど。

【三井課長】

三井でございます。

管理自体、所管自体は大阪府ですので、区役所に何かするという権限は特段ございません。

【高野議長】

お願いをすることはできるぐらいの。

【三井課長】

そうですね。お願いという意味では。今もビーチのにぎわいづくりということで、整備している大阪府と水辺の魅力を発信しようと府の部局、区役所も区内ですので一緒に連携しながらやっていっているところですので、そういった関係部署のほうに要請することは、お願いすることはできると思います。

【高野議長】

ありがとうございます。

それでは、この項目についてほかにご質問、ご意見等ございますでしょうか。

下影委員、お願いします。

【下影委員】

3-2の未来の都島を担う人材育成のアウトカムの指標で、先ほども議論がまた続いていたと思うので

すけれども、多分聞き方の問題で、子どもに聞くんだったら、あなたは大人になっても都島で働いて住んでいきたいですかというような聞き方をすれば、子どもはそれをイエスと答えるなら、多分ここで本当に未来の都島を担う人材として残っていくんじゃないのかなと。そこで働いて生活して過ごしていくという言い方をすればいいんじゃないかなと思うので、多分聞き方次第だと思うんです。だから、そういう聞き方を通して、今の全国調査を使うのもいいのかもしれないですけども、直接そういうふうな形で子どもに聞く中で、子どもがいかにか担う人材になってもらえるんだろうかというのを見ていくほうがいいんじゃないかなと思いました。

以上です。

【高野議長】

いただいた意見について、平易な質問等に改善が可能かどうかなどお答えいただけましたらお願いします。

【清原課長】

こども教育担当課長の清原でございます。

実はこの部分なかなか難しく、未来の都島を担う人材育成と、確かにこう書いてはいるんですけども、親御さんの気持ちだったり、あるいは本人の気持ちだったり、あるいは日本全体のことを考えたら世界に羽ばたいていく子どもたちになってほしいという思いも一方ではあったりするかと思います。取り方ということに関していうと、じゃ、そういった、先ほど下影委員のおっしゃった質問をどこで取るんだという手間の問題もありまして、一応全国学力・学習状況調査を使っているという状況になります。ちょっとご意見はまた、どこかで聞ける機会がつかれるのであれば、そういう聞き方をすることもまた考えていきたいと思っておりますけれども、今申し上げましたように、何せ役所がやるといういろいろお金とかのかかる部分がございますので、その部分でご了解いただけたらと思います。引き続きよろしく願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございます。

ほかにありますか。

では、谷副議長にマイクを回します。

【谷副議長】

淀川地域の谷です。

3-1の魅力あるまちづくりのことなんですけれども、先ほどもちょこちょことリバーフェスのお話が出ていたと思うんですけども、リバーフェスが中止になってから全く何のSNSでも上がってこないの、初めに聞いたときは、大川のほうをもうちょっと有効活用してほしいということを伺っていたの

で、リバーフェスは人を集めるための有効的ないい機会なのかなと思っていました。ちょっと天候のあれで中止になってしまったので、そこからは全く何の発信もなく、大川でバーベキューができますよとか、スポーツができますよとかという話もちょうと途切れているようなので、本当に水辺のにぎわいづくりをしようと思うんだったら、中止になってもやっぱりこういうことをしていますよという発信はしていくべきだったんじゃないかなと思っているんですけれども、どうでしょうか。

【高野議長】

今のご意見について、お答えをお願いします。

三井課長、お願いします。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。ありがとうございます。

確かにイベントのときには、イベントの前とかで大々的にイベントに来ていただきたいということでアピールはしていたんですけれども、おっしゃいますように、日々発信していたわけではありませんので、何かそういった日々発信するとか、もう少し魅力を感じていただけるような取組というのを考えていきたいと思えます。どうもありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

それでは、少し時間も迫ってきましたので、どんなことでも構いませんので一言ずつご感想とかご意見をいただきたいので、まだ発言がございませんでしたので順にご指名で、まず東都島代表の多田委員からお願いして、次、浦出委員、そして岡本委員に、今日の出席された感想、どんなことでも構いませんのでお願いいたします。

まず、多田委員、お願いします。

【多田委員】

私も長いこと防災リーダーをやったり、災害救助部長とかそういう役職をいただいてやってまいりました。この間も、先ほど江川さんが言ってはりましたように、小学校の5、6年生、4年生もいましたか、学校のグラウンドでいろんな設備、火をおこすコンロの組立て方とか、それで音楽室では簡易ベッドの作り方とか、そういうことを一生懸命やってきたんですけれども、私らはそんなことより、とにかく災害が起こったときに第一に考えなあかんのは、やっぱり避難してくる人のことを考えなあかんということで、それでいろいろ、昔、各役割をつくったんです。受付から救助の担当とかそういうのをつくったんですけれども、それがそのときで終わってしまい、あと、今やっているのはほんまに避難のときの、一番大変なことなんですけれども、講堂の中でみんながどうして部屋を作れるか。個人個人の部屋を段ボールで組んで作るというのが大変やなということで思っているんです。とにかく我々は昔の人間なの

で、第一に消火訓練とかそんなのをどんどんしていったらいいのになとは思っています。いろんなことがあるんですけども、そういうことで、防災のほうでもっといろいろ勉強していきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

中尾課長にお答えいただきます。

【中尾課長】

中尾です。ありがとうございます。

多田委員におかれましては、確かに過去、様々な防災リーダー、また災害救助部長とかを担っていただきまして本当にありがとうございます。

小学生の防災の授業的な取組で、実働的なものももっとやっていきたい部分もご意見としてあったかと思えます。今、各小学校、また中学校とかの校長先生にも、防災の取組について一緒にやっていきたいということを発信しておりまして、またその中で、小学生を含めて地域の皆さんと一緒に、防災の力を高めるために準備を進めているところです。先ほども申し上げましたが桜宮中学校でも行うということも決まっておりますし、ほかに淀川中学校も9月に行うことが決まっております。というような形で、少しずつではありますが、またしっかり、ちょっと地震もあつたり災害もこれからいつ起こるか分からないという部分では、しっかりとスピードアップしていきたいとも考えておりますので、時間とマンパワーの関係もありますが、しっかり地域の皆さんにもお力添えをいただきながら、学校と一緒に実働的な防災力アップに向けても取り組んでまいりたいと思っておりますので、また知恵を貸していただければと思います。また一緒にやっていきたいと思えます。よろしく願いします。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、続いてマイクをお返しします。高倉地域活動協議会の浦出委員、お願いします。

【浦出委員】

高倉地区の浦出です。お世話になります。

本日の議題を聞かせていただいて、全てにおいて思わせてもらったことが、せっかく区長さんをはじめ区役所の皆様がとても素晴らしいイベントとかいろんなことを考えてくださって発信してくださっているんですけども、申し訳ないんですけども、せっかくの回覧板も、せっかくの都島だよりも、せっかくのSNSとか発信してくださっていることとかも、なかなか見ている人が少ないです。この間もうちの前町会長が、都島だよりにお花のことで大々的に載せていただいたことを、小さい小さい高倉地域の7町会の小さいところの中でも、自分の町会長が出ている都島だより見てくれたかと皆さんに言っ

たら、7町会の役員と回覧を配っている班長さん方がおられる中で、見ている方がほとんどおられなくて、町会長さんもがっかりされて、せっかく載ったのと言っておられるような状態なんです。回覧板が回ってきて、ぱっと見て判こだけ押して次という形で、ゆっくり時間があるときにゆっくり見ているときに、こんなすごいイベントがあるんや、こうなんやとすごく思うときもあるんですけども、急いでいるときはもう、はいはい、次に回してみたいなことに私でもなるんですね。だから、そういうふうに思うと、せっかくのビーチのこともですし、防犯のこともそうですし、いろんなことを見てもらえるように、何とかそういうふうにしていかないといけないんじゃないかなということをおっしゃっていただきました。

それで、ちょっと考えたんですけども、せっかくのいろんな大使ってあるんですけども、都島大使みたいな、アイドルみたいな、そういう人が発信するということが何かあったら若い子も見るといいかなと。1ページでも入っていると、それ見ようというついでに見るみたいなこともあるんじゃないかなとかちょっと思ったりして、せっかくの内代が生んだ新しい学校のリーダーズ、都島が生んだとても大きなアイドルがいたりするので、あと何か漫才師さんとかもいはるみたいなので、何かそういうことで、お金はかかるんでしょうけれども、何かちょっとそういうことで、回覧板を見たらその発信が一言でもあるんだよとか、何かそういうのがあったら楽しんで都島よりも回覧板もSNSで都島が発信されることも見るようになるんじゃないかなみたいなことを思って、そしたらせっかくの区役所さんがつくってくださっているいろんなイベントとかを見ることができるようじゃないかなと思います。私も桜ノ宮ビーチのことも、できたできたとずっと昔から言っていて、どうやって行ったらいいの、無料なん、どんなイベントしてはるのというのは、多分都島よりも、回覧板などを見たら絶対大々的に載っていたんでしょうけれども、全然分からずに、何か楽しそうなこととしてはるけどどうやって行ってはるのやろうみたいな形になっているのは、多分皆さんそうなんじゃないかなと。回覧板をしっかりと見ない人はほぼそうなんじゃないかなと思うと、何とかしてそれを見てもらうようになったらいいんじゃないかなと思わせてもらいました。すみません、ありがとうございました。

【高野議長】

今いただいた区民だよりや、そしてSNSの閲覧数を上げるための取組や、そして大使を得てはどうかなど2件あったんですけども、お答えをお願いします。

【三井課長】

政策担当課長、三井でございます。ご意見ありがとうございます。

やはり発信した情報をいかに見てもらうかというのは非常に重要なところで、これまでも、それをいかに見てもらうかという工夫を我々なりに考えてきたつもりではあるんですけども、今おっしゃいましたような特に見てもらえるような工夫というのは新たに考えないといけないなと思いますし、また先

ほども別の場で意見もいただいておりますけれども、情報を取りたいときに取りやすいようなしつらえにしておくというのも大事かと思っておりますので、そういった情報の発信もそうですし、ほしいときにほしい情報にアクセスしやすいような情報の持ち方というんですか、ホームページ等などはそうだと思うんですけれども、そういったこともより改善を進めて、情報が皆さんに行き渡りやすくするように考えていきたいと思っております。どうもありがとうございます。

【高野議長】

高野です、すみません。

大使の話で補足で思ったんですが、前、セレッソ大阪のサッカー選手の柿谷曜一朗、連載させていましたよね。だから、区出身であればお願いすることって、今後そのような有名な人でも可能なんでしょうか。

【三井課長】

ありがとうございます。政策企画、三井です。

確かに柿谷選手のときには当時の区長も対談したりとか、その縁で毎月コラムを送ってもらって掲載したりしていたんですけれども、その当時に区出身とかゆかりのある方というのはリストアップして、いろんな方に当たっていったところだったんですね。それで実現したのが柿谷選手だったということがありますので、なかなかほかというのがすぐにいける自信はないんですけれども、そういったところも、誰々が、有名人が都島の出身、先ほどおっしゃいましたような新しい学校のリーダーズのリーダーの方ですね、高倉の内代小学校のご出身でもありますので、そういったところを例えば発信して、話題づくりをしていろいろ関心を持っていただくとか、大使という話もありましたけれども、そういった情報発信のアンバサダー的な方を任命するとか、そういったことも重要になってこようかなと思っておりますので、そういったことが、何ができるかというのも少し考えてまいりたいと思っております。ありがとうございます。

【高野議長】

だそうなので、期待してお待ちしましょう。

では最後、岡本委員、お願いします。

【岡本委員】

岡本です。

私のメインというのは大体商店街がメインになります。住宅は違うんですけれども、メインはずっと商店街の中でございまして、一応商店街のトラブルというのはほとんど今ございません。18台のカメラで1か月間録画しておりますので、何かあれば都島警察から来て、ビデオを見て、大概のことは片づく。そうっております。

ただ、自転車だけはどうしようもなく、狭い商店街でありますので、どういうわけか事故はないんですけれども、電動自転車はかなり多くなった。多分、半々ぐらいの台数じゃないですかね。普通の自転車と。結構なスピードで走るんですけれども、どういうわけか事故は今のところはないんですが、いずれ大変なことになるんじゃないかなと。それと、駐輪場の問題。この間もおっしゃっていたんですけれども、幾らつくってもそこへは置かない。店の前へ置く。それが結構な台数になりますので、なかなか皆がおっしゃるようにうまく対応できていない。どこの商店街に聞いても完全な方法というのはいないんですよ。誰か人を置いて撤去するというのもあるんですけれども、それもまたトラブルになりますし、今のところは定期的に貼り紙をして、ある程度動かして、そういうやり方でやっている。これは区役所さんにはちょっと対応していただけないとは思いますが、それは望んでおりません。うちのほうで何とかやっていきたいなと思っております。今のところはこんなところでございます。

【高野議長】

ありがとうございます。引き続きよろしく願いいたします。

中尾課長よりお答えいただけるようです。

【中尾課長】

中尾です。

自転車の問題なんですが、岡本委員がおっしゃられた、駐輪場の場所が、例えば近いところに当然皆さん止めたくなるし、遠いところにつくっても、なかなかそこには止めてくれなくて、お店の近くとかの場所に駐輪してしまうということなんですが、確かに人の感情的な部分でいきますとそのような心理で、どうしても遠いところの駐輪場にはなかなか止めてくれないというのは我々も認識はしております。駐輪場の所管である建設局ともそのあたりは共有はしております、建設局もできるだけ止めてもらえるような場所に駐輪場というのを、また新たな場所も探しながらというのは取り組んでいる。ずっと継続してやっております。その中で、例えば料金の設定であるとか一定の優劣もつけたりしながら、ちょっと遠いところだったら長い時間止められるとか、ちょっと金額も安いとかとやったりはしているんですが、なかなか根本的な解決まで至っていないというところです。

【岡本委員】

商店街自体もそれほど強気じゃないんですわ。というのは、徹底的に撤去した場合に、お客さんが減るん違うかなというのがあってね。きっちりと撤去はしにくいというんです。その辺がなかなか微妙な感じで。分かりますか。それと、こんな具体的にしゃべってどうなのか分からんのですけれども、夜に持っていけないと言うんですよ。どういうわけか。昼前、朝に来て、ほとんど不法駐輪はないんです。ところが、夜になると七、八十台止まりますね。それ持っていけやと言うんですけれども、置くところがないと言うわけなんですわ。それをまた定期的に全部やると、お客さん減るの違うかなというちょっと

と弱気なところもあって、その辺は微妙なんです。どうですか。何かいい案があれば。これ、どこへ聞いても案はないんですよ。これというのは。ということです。何とかやりますけれども。

【高野議長】

引き続き、よろしくお願いいたします。

では、時間も迫ってまいりましたので、たくさんの貴重なご意見やアイデアありがとうございました。

それでは、今日はご多用の中ご出席いただいた大阪市議員3人の方々にご臨席をいただきました。

それでは、コメントを一人ずつ頂戴していきたいと思います。

では、まず岡田議員からお願いします。

【岡田議員】

お疲れさまでございます。

皆さんここで議論していただいていることは、我々も市役所のほうでいろんな議論をするんですけども、ここで議論していただいたことが区役所のほうから市役所に上がって、それが一つ一つ政策として成り立っていくと考えております。今お聞きしていて、僕らが市役所の中で議論するのと同じで、周知というか広報活動というのが、いろんな政策をする上でも、新しい政策をしました。じゃ、これをどう周知するか。1年たっているけれども、これ、周知度合いはどうなんだという話は、全く同じような話をよくしています。これはもう本当に役所というか、我々自身もそうなんですけれども、大きな課題として今後も考えていかないといけないので、すごくいいアイデアがぽっと出たら、それは本当に大阪市全体として採用していきたいなと思っていますので、ぜひ議論をどんどん深めていただければなと思います。ありがとうございます。

【高野議長】

では、続いて大西議員、お願いします。

【大西議員】

ありがとうございます。活発な意見。今日もよろしくお願いいたします。

私からは、この資料2の客引き行為等、これは僕ちょっと力を入れているところなんですけれども、目標が51%ということで、70%周知しているということで、京橋は頑張って客引き行為等の取締りというのを回らせてもいただいているので、これ非常にうれしい、区役所の皆さんもよくやっただいているので、これはありがたいなと思っています。

美化に関してなんですけれども、私たちも市議員で大川の掃除もやっているんですけども、いろんな京橋の掃除も月に3回ぐらいやっているんです。周りの商店さんとかの店長さんとかを募って結構会社ぐるみでやってくれているんですけども、やっぱり京橋がかなりごみが多い。その代わり、大川のほうはやっぱり少ないんです。意識もあります。そして、先ほど雨の日。かなり雨が思ったと思うん

ですけれども、大川つながりなんですけれども、高架下ですよ。あそこの水がたまるというのは僕も陳情をよく受けているんです。だから、よく見に行っているんですけれども、やっぱり道路の整備もきっちりしないと。あそこ、よく通るところなんですよね。何でかという、信号がないからしゅーっと通れるということで、結構皆さん通っているところやと思いますので、この辺を私たちが市のほうに上げて行って、どんどん改善していきたいなと、そう思っておりますので、皆様よろしくお願いを申し上げます。ありがとうございます。

【高野議長】

では、続いて荒木議員、お願いします。

【荒木議員】

委員の皆様、本当にお疲れさまでございます。

今日は皆様の活発なご議論といいますかご要望、ご提案、これを我々も大阪市会のほうでいろいろと議論をしながら前へ進めていきたいと考えております。

それで、先ほどの議論をお聞きしておりましたら、一つ気になっておりますのが、いわゆる自己評価の目標の数値なんですけれども、目標の数値が50か70か80かというのは、これは恐らくですが区役所の中でお決めになっているんだと思っております。この目標値を、区政会議の委員の皆さんと議論して何%、いわゆるどれだけをめざすんだという目標値を地域の皆さんと共有されるほうがいいんじゃないかなと思っております。自分らにとっても、80がいいのか90がいいのか。多いほどいいのは間違いないんですけれども、先ほども出ていましたように、目標数値が51%以上とか91%以上というその根拠がちよっと分からないものもありますので、先ほどから出ておりましたように、確かに1,500人無作為抽出でされているので、アンケートの仕方、アンケートの項目も、行政的にはあまり質問項目を変えると評価しにくいという欠点とか弱点もあるんですけれども、質問される側にとって何を聞かれているのかがやはり的確に答えられるようなアンケートでないと、正確な評価につながってこないと思うので、一度、質問の項目の内容も委員の皆様とご相談いただいたらなと。これは要望というよりも提案といいますか、そのように感じたということで、我々の立場からそのようなご意見は申し上げておきたいなと思っております。

以上でございます。本日はどうもご苦労さまです。ありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

岡田議員、大西議員、荒木議員にコメントをいただきました。

それでは、続きまして、都島区藤岡区長から挨拶をいただきます。

【藤岡区長】

長時間にわたりまして活発な議論ありがとうございました。議員の先生方も貴重なご意見ありがとうございました。

今日、本当にたくさんの幅広い意見をいただきました。特に防災に関するお話がございまして、私も1月1日に発生した地震ということ、そして地域の連長さんを含め皆さんのご意見を伺いながら、やはり防災に非常に力を入れていきたいと思っております。その中で、小学校、中学校の先生方に、ぜひ地域と一緒に防災訓練を考えていただきたいというお話もさせていただいたこともありますし、その中で防災訓練のご依頼が結構たくさん増えている状態でございますので、そのあたりは皆様の自助共助、お力添えをいただきながら、区役所も一緒に地域で取り組んでいきたいと思っております。

また、私が区長になりまして1年少したちました。最初に来たときに、やっぱり都島の魅力は三方を川に囲まれた場所やというところで、積極的にイベント、あるいは魅力発信ということをやりたいということで、昨年リバーフェスを企画いたしましたし、引き続き取り組んでいきますので、ぜひ楽しみにしていただきたいと思っております。

また、運営方針に関しまして、指標のコメント、そして目標設定に関して、これはほんまに行政は気づかへんところのご指摘もいろいろいただいたかなと思っております。それについては、次の運営方針を立てるタイミングが少しちょっと先になりますけれども、日々努力しながら、そのあたりの目標設定も吟味しながら進めていきたいと思っておりますので、皆様のお力添えを賜りたいと思っております。

メディア発信ですね。これはもう本当に非常に大切だと思っております。取り出したいときに情報が取り出せる、また若い人が興味を持ってもらう発信というのは力を入れて私もやっていきたいと思っておりますので、ぜひご期待いただきたいなと考えております。

様々商店街のお話もいただきました。本当に今日は幅広く皆様に貴重なご意見いただきましたことを心より感謝申し上げます、引き続きご協力いただければと思っております。

本日はどうもありがとうございました。

【高野議長】

これで、本日予定しておりました議題につきましては終了となります。

皆様のご協力により議事が円滑に進みましたことをお礼申し上げます。ありがとうございました。

それでは、司会進行を事務局にお返しします。

【吉村課長】

本日は、議長、副議長をはじめ各委員の皆様方におかれましては、長時間ご議論いただきまして誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度第1回都島区区政会議を閉会させていただきます。

なお、後日ご案内させていただきますが、第2回区政会議は10月29日火曜日を予定しておりますこと

をお伝えさせていただきます。

また、再度のご案内になりますが、区政会議に関する評価シートにつきまして、本日ご持参いただいている方は出口にて回収させていただきます。ご持参いただけていない方は、恐縮ではございますが、机上の評価シートにご記入の上、提出いただきますようお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。お疲れさまでございました。